

(様式2)

平成30年度 学校経営総括及び学校評価報告書

内灘町立内灘中学校

校長 井上 勝文 

1 教育目標について

昨年度に引き続き、学校経営ビジョンを「魅力のある学校づくり」とした。教育目標である「確かな学力と心豊かでたくましい社会性を身につけた生徒の育成」の実現に向けて取組を進め、「知・徳・体」のバランスの取れた生きる力を身に付けた生徒の育成を目指した。

確かな学力（知）については、基礎的・基本的な学習内容が定着していない生徒や家庭学習習慣が身に付いていない生徒が多く、学力調査の結果が県平均を大きく下回るなど、引き続き、学力向上が本校の喫緊の課題となっている。そこで、本年度は、年度当初より1年生を対象に、本校オリジナルの「家庭学習ノート」を導入した。

また、豊かな人間性（徳）や健康・体力（体）についても、全体的に多くの生徒が明るく元気な学校生活を送っているものの、不登校をはじめ、人間関係のトラブルや問題行動を起こす生徒も見られ、十分な状況とは言えない。新たな不登校を生まないための、様々な手立てを講じてきたが、成果を上げることは難しい現状であった。

これまで、教育目標の具現化に向けて様々な取組を進めてきたが、まだまだ課題も多く、それぞれの取組を確実に実践に繋げ、検証を繰り返し、次年度につなげたい。

2 今年度の重点目標に対する成果と課題

(1) 学力の向上

<成果> 学校研究を通して学力向上に繋げようとする教職員の意識は高まっている。また、「意欲を持って学びに向かい、互いに高め合う生徒の育成」の研究テーマのもと、校内研修会や各教科の取組が充実し、「つなぐ・広げる・深める」教師の働きかけを意識した授業づくりを進めることができた。

<課題> 学力調査問題に対応できる授業技術を磨かなければならない。また、学習内容の確実な定着を図るための指導（授業での「押さえ」や単元後の確認テスト等の実施、家庭学習の充実に向けた取組など）を更に充実させる必要がある。

(2) 生徒指導の充実

<成果> 新企画「いじめ根絶プロジェクト」を計画的に進めることができた。また、いじめ問題対策チームを中心に、いじめや問題行動に対して迅速な対応ができた。大きな問題もなく、全体的に落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができた。

<課題> 生徒の自主的・実践的な活動を重視した取組に課題がある。（生徒会活動・学級活動等）生徒を前面に出した、積極的生徒指導を推進すべく取組を工夫していかなければならない。また、不登校生徒が増加傾向にあり、教育相談をはじめ、きめ細かな生徒観察・生徒理解に基づく指導の充実が必要である。

(3) 豊かな心の育成

<成果> 道徳教育や人権教育、体育祭や文化祭などの学校行事、また、生徒会や各学年の行事や取組を通して、豊かな心の育成を図ることができた。

<課題> 道徳の授業づくり（評価含）に力を注いでいく必要がある。「特別の教科 道徳」を意識し、道徳の授業をはじめ、「心の教育」の推進に努めなければならない。

(4) 安全指導と健康づくり

<成果> 生徒会（保健委員会）などの取組により、生徒の健康に関する意識を高めることができた。また教職員対象のAED・エピペン講習会や食育などに取り組むことができた。

<課題> 常に、危機管理意識の維持・向上を図っていく必要がある。また、家庭での生活習慣を向上させるために、家庭での時間の過ごし方や食生活など、保護者と協力・連携した指導を強化し、改善していく必要がある。

(5) 開かれた信頼される学校づくり

<成果> 学校ホームページやメールによる情報発信を充実させることができた。また、「学校を信頼して、我が子を預けている」と回答した保護者の割合は、高い水準で維持されている。保護者の学校への信頼度は高い。

<課題> 学校からの各種たよりを、確実に見てもらう手だてを検討していく必要がある。また、生徒・保護者・地域にとって「魅力のある学校」づくりを推進させるため、前例踏襲とならない各種取組に挑戦していく必要がある。

3 次年度に向けて

(1) 教育目標について

引き続き、「確かな学力と心豊かでたくましい社会性を身につけた生徒の育成」とし、これまでの取組を継続・発展させていく。

(2) 重点目標について

①学力の向上

- ・校内研修の充実（指導主事要請訪問を積極的に実施）
- ・家庭学習の充実（内灘中学校独自の「家庭学習ノート」の積極的活用）

②生徒指導の充実

- ・積極的な生徒指導の推進（基本的生活習慣の定着）／「凡事徹底」と「率先垂範」
- ・教育相談の充実（いじめ・不登校対応）／全国いじめ問題子供サミットの還元

③豊かな心の育成

- ・道徳／人権教育の推進（道徳（授業）の充実、掲示・啓発活動の推進）
- ・行事、生徒会活動、部活動の活性化

④安全指導と健康づくり

- ・教職員の危機管理意識の向上
- ・保健・安全指導の充実

⑤開かれた信頼される学校づくり

- ・積極的な情報発信と学校公開（学校HPの充実、各種便り・メール等での情報発信）
- ・学校評価を踏まえた指導の推進
- ・小中連携の推進（小中連携挨拶運動、児童会・生徒会サミット等）

(3) 学校評価について

今年度の学校評価の結果・分析を踏まえ、各学年・教科・分掌等で「指導の重点」を設定し、見通しを持った継続的な取組を進める。

(4) その他

- ・若手教員早期育成プログラムの充実、ミドルリーダーの育成
- ・働き方改革を意識した業務の精選及び部活動指導の意識改革

4 学校評価報告書（別紙様式3）